

生産者の課題を理解し、ソリューション提案に取り組んでいます

JA埼玉県信連の生産者支援

JAとともに生産者の期待と信頼に応え、地域経済の発展に寄与する金融機関を目指します。

農業融資



外的要因により円滑な事業運営に陰りが… 持続可能な経営の支援として運転資金を提案

当初、岡田社長から「酷暑・高温障害、夕立増加の影響を受けて、作付けた『ネギ』の大半が出荷出来ない、昨今の資材高騰の影響による経費が増加したことで次期作のネギの生産体制が不安だ」との相談を受けました。そのため、現状課題の明確化と対策、加えて今後の事業計画並びに販売計画等を綿密に打ち合わせ、当社の事業性を吟味したうえで、融資の実行をいたしました。実行後は各種課題に対するモニタリングを行いました。



課題

夏場の酷暑・高温障害の影響により、作付けた分のネギの大半が出荷できず、売上が大きく低下。

解決

JA埼玉県信連の融資を受け、緑肥による地温上昇抑制及び排水対策を行うことで強いネギを作る。

あの震災から一次産業の重要性を再認識

岡田社長は、高校時代に農業を学んだ後、自衛隊を経てサブコン業界で働いておりました。しかし、2011年3月11日東日本大震災の発生時に「食」の重要性を再認識し、『自分達の食は自分達で作る必要』があると志し、農業

大学校へ進学。卒業後は、農業が盛んな地元長野県で地域の方々から助言や指導を受け、その経験を活かし埼玉県で就農を決意。現在は、秩父郡長瀬町で観光農園(ブドウ狩り)を運営しながら、坂戸市でネギを生産しています。



課題解決と今後の展望

岡田社長「融資のみならず、他の資金調達方法も教えていただき勉強になりました。おかげさまでネギの売上が戻り、今期は順調に推移しております。『オイコス』はギリシャ語で“家”を表す言語です。人員の確保にも成功し、これまでよりも面積や品種を増加させていくことで、『お客様のニーズにこたわりを持って応え、食卓に“美味しい”の笑顔を届ける』というモットーを実現していきます。今後もその場に応じた解決策を信連さんに相談させていただきたいです。」

株式会社Oikos Nomos



代表取締役
岡田様(左)

取締役
井上様(右)

Field Notes

今回、最終的には短期運転資金という形でサポートをさせていただきましたが、今後は当社の将来的な経営支援を視野にファンドによる資金調達についても提案したいと考えてお

ります。

ファンドの活用により経営基盤の強化に加え、対外的信用力の向上を図ったうえで、JAグループならではの強みを生かし多様なチャネル構築のサポートをいたします。また、昨今の売り手市場により労働力不足が懸念される

状況にある中、重要な経営資源の一つである「ヒト」を募集するため、求人サイトの利用や人手不足の解消をお手伝いできたらと思います。

本件に限らず、JAグループとして他の金融機関にはない付加価値を提供し続けることで、

農業者に必要不可欠な金融機関としての地位の確立を目指すと同時に、埼玉県の農業者の持続可能な経営の実現に貢献してまいります。

JA埼玉県信連
農業部
松島 勇史

